

# 林業福島

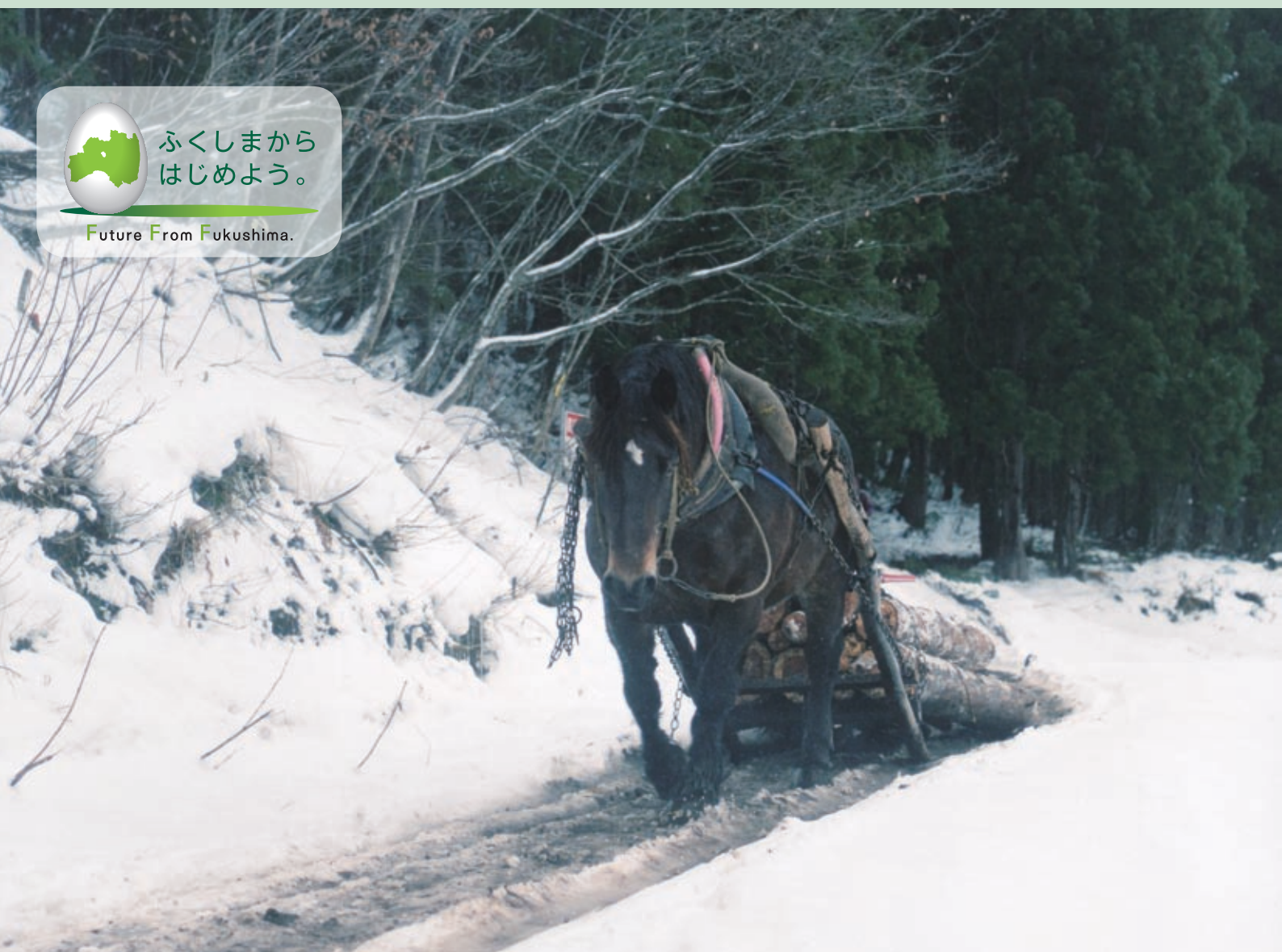
No. **593**

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



1

2014

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■材木運び



# 復興の流れをより確かに

福島県知事  
佐藤 雄平

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。  
東日本大震災から三度目の新年を迎えました。  
本県は、いまだ十四万人の県民の皆さんが避難を余儀なくされているなど、厳しい状況が続いております。

県では、「二〇二〇年を目標年次に定めた新たな総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、「活力」「安全・安心」「思いやり」の三つの柱の下、一日も早く復興を成し遂げようと、環境の回復や健康を守る取り組みなどの重点プロジェクトを全力で推進してまいります。

県民の皆さんと一丸となつて取り組んできたことにより、本県は着実に元気を取り戻してまいりました。観光地やイベント会場は多くの方でにぎわうようになり、子どもたちの元気な声がたくさん聞こえるようになってきました。

広野町や田村市都路地区の米や伊達地方のあんぼ柿の三年ぶりの出荷再開、相馬地区に続くいわき地区での漁業の試験操業開始、県営復興公営住宅の着工など、復興の動きが目に見えるようになってきております。

さらに、広野・檜葉沖の浮体式洋上風力発電の運転開始、福島空港メガソーラーの着工など、本県が目指す再生可能エネルギー先駆けの地のシンボルとなる取り組みも始まっております。

これまでの成果が形となつて現れてきた、この復興への流れをより大きく、確かなものにしていかなければなりません。

そのため、まず、最大の課題である避難地域の復興に力を注ぎ、帰還に向けた対策と生活再建・安定のための対策を両輪で進めてまいります。

また、今年、復興公営住宅の入居開始、環境創造センターや国際医療科学センターを始めとする各種拠点施設の着工、産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所の開所など、これまでの取り組みがそれぞれ新たな段階に入ります。

さらに、この春のプレデスティネーションキャンペーンや、六月の日本陸上競技選手権大会を始めとする全国規模の大会、国際会議が今後も数多く開催されます。こうした機会を逃すことなく、本県の魅力と今を国内外にしっかりと発信していただき、風評の払拭に全力で取り組んでまいります。

こうした、それぞれの局面を通して、本県の復興の新たな展開を見せてまいります。「ふくしまから はじめよう。」の合言葉の下、県民生活の安全・安心の確保、農林水産業の再生、産業の振興、インフラの復旧など、山積する課題を一つ一つ解決し、県民の皆さんに復興の進展をより実感していただけるよう「新生ふくしま」の形をお示ししてまいります。

県民の皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

## 《も く じ》

とびら

復興の流れをより確かに

福島県知事 佐藤 雄平…………… 1

森林林業平成26年の取組…………… 2

新春特集 広がる森林づくり…………… 3～4

林業研究センターだより…………… 5～6

「森で育む未来への絆」

第11回うつくしま育樹祭開催…………… 7～8

森林管理署メモ…………… 9

公社だより…………… 10

普及指導員通信…………… 11

木材市況・ふくしま東西南北…………… 12

はなしのひろば…………… 13

# 森林林業平成二六年の取組

農林水産部次長(森林林業担当) 水戸 典明

## 東

日本大震災の発災から三度目の春を迎えました。

昨年十二月、農林水産省は十三の重点事項からなる、攻めの農林水産業の推進に向けたとりまとめを発表しました。林業分野では、木材需要の創出、安定供給体制の構築、森林の多面的機能の維持・向上を二本柱とする「林業の成長産業化」が盛り込まれています。本県でも、放射性物質と向き合いながら森林を再生する取組が始まっており、昨年からの合い言葉「気がつけば日本一の林業県」の実現を目指し、歩を進めます。

## 放

放射性物質対策のため、平成二三年以来、森林の空間線量率をはじめ各種モニタリングや放射性物質の拡散防止、低減技術の実証などに取り組んでいます。昨年は、福島県と国際原子力機関（IAEA）との協力プロジェクトによるミッションが

二次に渡って行われました。

ヨーロッパ諸国とは、自然条件や居住地の状況が全く異なりますが、これまで県が取り組んできたモニタリングや実証事業の進め方を評価いただきとともに、今後土壌内部の化学変化や樹木への移行を把握することの重要性が指摘されました。

## 実

証事業などで得られた知見は、今年度創設したふくしま森林再生事業に活かし、人工林の間伐や天然広葉樹林の更新など森林整備の加速化と放射線の測定、丸太柵などの拡散防止対策を一体的に進め、森林の持つ多面的機能の確保と放射性物質による影響の低減に取り組んでいます。今後も実証等を通じて、効果的な森林の再生を図ります。

## 林

産物では、八〇〇〇戸近い木造応急仮設住宅が採用され機能面、心理面ともに内外から評価されているほか、公共建築物等の木造化や内装

の木質化も進展しています。また、木質バイオマスの活用が進む一方で放射性物質への不安の声も聞かれませんが、生産、利用の各段階できちんと測定、公表を続け、森林資源を安全に無駄なく活用する合意形成がなされることを願っています。

特用林産物では、大規模な施設での生産が再開し、本県のためこ生産量が全国四位に復活したことが統計速報で判明しました。関係する皆様の御尽力に感謝します。

## 海

岸保安林の復旧に当たっては、防潮堤、道路等の整備と避難態勢の確保などを組み合わせた多重防御の観点から、林帯幅を津波の減衰効果がみられる二〇〇メートル程度に拡大するなど、市町の復興整備計画に基づき整備を進めています。今後も避難区域等の見直しに合わせ海岸防災林の整備計画を拡大します。

## 森

づくり活動は震災後厳しい状況に置かれています。昨年末「森林づくり検討委員会」から、震災や原子力発電所事故と向き合いながら県民参加による森づくりを再興する提言をいただいたところです。また今夏、本県が招致に取り組んでいる平成三〇年の全国植樹祭開催県が内定

します。既に復興の気持ちを込めた様々な植樹の取組が始まっていますが、復興に取り組む福島県民の姿を県内外に向けて総合的に情報発信しながら、一步一步前進します。

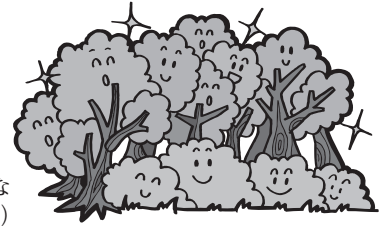


森林再生の実証試験地

## 新春特集

# 広がる森林づくり

未来に向かって、県民一人一人が参画する新たな森林づくりが進められています。新年にあたり、緑豊かな森林づくりを目指して活動されている方々に今年の抱負などを伺いました。（順不同）



南相馬市復興市民植樹祭

先の東日本大震災と原発事故による壊滅的な被害を受けた浜通り沿岸地帯は、二年六ヶ月を経過したところから海岸の護岸の復旧工事を行い、津波を想定した嵩上げ堤防を築き、国有林の海岸防災林の植樹、その後に県市町の防災緑地を約二〇〇㌔の幅で復興工事を行う計画が出て来だした。

一部南相馬市鹿島区の南右田浜キャンプ場跡地で「鎮魂の森」復興市民植樹祭が行われた所もあるが、堤防・道路の嵩上げ工事が優先し、海岸防災林や防災緑地は平成二六年度の後半になる様だ。

私たちの団体は、里山にみどりを、市街路に花いっぱいと言う趣旨で里山の植樹と花の養育の畑を運営して来た。里山は原発二〇㌔圏内すれの為、里山管理は自粛しているが、来年度辺りから、国道六号線沿いの桜の植樹（二回目）や海岸防災林（相馬松川浦大州海岸）、防災緑地の植樹が行われる状況が、少しずつ見えだした感である。来年度の実施で弾みが出てくれば、かなりの面積が復興しだし、県民市民にとって目の前に現実化してくる様だ。



緑豊かな景観事業（花いっぱい運動）



あづま総合運動公園での木工クラフト

『福島県もりの案内人の会』とは、県民のみなさんと共に森の未来のあり方を考え、もりと共生する自然環境づくりを目指す団体です。

平成十九年四月にNPO法人を取得しました。

小中学校の森林環境学習をはじめ、学習センター等の生涯学習、企業からの依頼を受け、毎年二万人を超える方々と自然観察や木の枝クラフトなどの自然体験を通して森林に親しみ、森林に学ぶ活動をしています。

県内に七つの支部があり総勢四〇〇人超の人員が認定されており、



あづま総合運動公園での自然塾

県北地区支部では現在八四名が登録し活動しています。主なフィールドはフォレストパーク、あだたら、あづま総合運動公園、民友の森、きぼっこ森、ブナツコ路、福島市水林公園、半田山自然公園等であり、昨年度から啓蒙活動の一環として福島市のA・O・Zで室内での活動も始めました。平時は二万人超の方々と交流でしたが原発事故後は激減し、フォレストの散策路に蜘蛛の巣が張る状態が続きました。除染を実施し、線量低下をPRした結果、昨年度は子供たちの声が増えてきて、自然散策、木工クラフト等を通して森林の大切さを伝えることが出来ました。低学年の子も森林整備では熱心に手ノコを使い、森の手入れの重要さを実感していました。福島の復興は若い人たちが戻ってきて達成できます。関係機関からの協力を頂きながら、前代表理事の永田壮三氏の緑化功労賞受賞を励みに、活動を続けたいと思います。

## 現実化する森林づくり

NPO法人 みどりと花の大地学園

理事長 岡 征四郎

## もり案県北地区支部の活動について

NPO法人 福島県もりの案内人の会

県北地区支部長 権 藤 齊 嗣

# 海岸林再生整備の体制作りを

NPO法人 いわきの森に親しむ会

理事長 松崎和敬

二〇〇一年十月に本会を立上げてから取組んでいる活動内容そのもの

については、例年どおりであり変つておりませんが、森づくり活動に取組むメンバー構成は二〇一二年から大きく変りました。三・一一以前の森づくり活動メンバーは地元中心で、時々首都圏からのメンバーが林業体験活動のために参加する程度でしたが、現在は地元メンバーは減少し、県外を中心としたボランティアメンバーが大幅に増加しております。その要因は、海岸林整備を行いながら被災地支援をしたいと思つている人達が多くおられることによります。

昨年五月から十二月迄の八カ月間の海岸林整備の延人員は、本会関係者一二〇名に対し、県外を中心とし



海岸林整備



山火事跡地の下草刈り

たボランティアメンバーが九九五名となりました。

今年度の海岸林整備は、昨年植樹したクロマツの保育作業が加わるなど昨年以上の作業量になることが見込まれており、そのための体制整備をどうしていくか課題となつてきました。同時に長期的に取組むための体制作りも必要になっていきますので、森づくり関係団体の連携協力体制づくりなど、いろいろと知恵を絞つていかなければと考へております。

海岸林整備以外の森づくり活動では、昨年に引続きプロ野球の森の整備、森林・山村多面的機能発揮関連事業などが加わりますが、多くの市民の参加を得ながら「安全第一に楽しく」をモットーに取組んでいきたいと思つております。

# 地域世代間交流による森林づくり

県南、「木もれび倶楽部」

会長 山本光子

県南、「木もれび倶楽部」は、県南地域のシニアから小中高生・不登校児・障がい者を中心に、異世代間交流でコミュニケーション力の向上と社会教育・地域社会の活性化及びみどり環境保全の推進を目的とした団体です。我々が主たる活動フィールドとしてい

る白河市の南湖森林公園も東日本大震災後は来園する人がほとんどありませんでしたが、自治体の除染作業も完了し、今では多くの子どもたちが環境学習のために学校行事として訪れるようになりました。その南湖森林公園では、自然環境保全の大切さを知つて頂くために親子で参加する植樹祭を開催し、多くの市民と共に記念植樹をいたしました。また、日本で唯一新幹線の停車する村、西郷村にある新白河駅前公園でバラ



新白河駅親子木製プランターづくり&花いっぱい運動

苗の記念植樹祭を開催し、参加した学生たちと共に「メモリアル公園づくり」「新白河駅親子木製プランターづくり&花いっぱい運動」や「白河関の森公園」にて植樹祭を開催し花いっぱい事業に取り組みました。

様々な世代からの参加者を募り、様々なフィールドを提供し続けることで、私たちスタッフのみならず地域全体で森林に慣れ親しみ、自然環境保全の意識を高めていくこのような活動を継続的に行つていくことが大切であると考えています。次世代を担う子どもたちを中心に今後も数多くの参加を呼びかけ「森林・自然を守り育てる」という意識の伝達・継承を行いながら、これからもこの美しいふくしまの森林のために未来に向けて継続的な活動を行つてまいります。



白河関の森公園植樹祭

## 林業研究センターだより 乾燥処理で木材中の放射性セシウムを低減できるのか



県林業研究センター林産資源部  
主任研究員 村上 香

### 1 はじめに

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質により、高濃度に汚染された森林では、継時的な立木内部への放射性物質の移行と蓄積が懸念されます。このため、安心な木材の供給と木材として利用可能な地域の拡大を目指し、材内部の放射性セシウムの低減方法を検討しています。

低減処理費用を考慮すると、木材製品の付加価値を高める処理過程で放射性セシウムが低減されることが理想的なため、まず乾燥処理による低減効果を評価することとしました。田中らは、安定セシウムで飽和状態にあるスギ小片（一五×一五×一五<sup>ミ</sup>）において、乾燥処理により安定

セシウムが材内部から表面に移行することを報告しています<sup>1)2)</sup>。今回は、放射性セシウムで安定セシウムと同様の現象が見られるか確認した試験の結果を報告します。

### 2 試験方法

(1) 試験体の調整  
計画的避難区域（放射線量が高

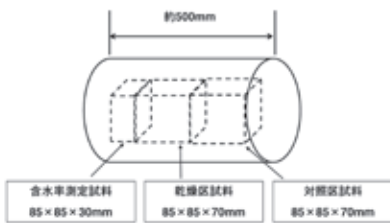


図-1 丸太からの試料の調整

く、林業活動が行われていない区域。この区域の木材は流通していない。から、平成二十三年十一月（当時の空間線量四〜六マイクロシーベルト/時）および平成二十四年十二月（四マイクロシーベルト/時）に約五〇〇<sup>ミ</sup>の丸太を三本ずつ採取し、一本の丸太から対照区および乾燥区用として八五×八五×七〇<sup>ミ</sup>の木片を二体、含水率用として八五×八五×三〇<sup>ミ</sup>の木片を一体、連続的に調整しました（図-1）。

なお、平成二十三年十一月に採取した丸太は乾燥条件六五度用、平成二十四年十二月に採取した丸太は乾燥条件九〇度用としました。（表-1）

(2) 乾燥処理・表面切削と放射性セシウムの測定方法  
試験区は対照（無処理）区と乾燥区とし、乾燥区の乾燥条件は温度六五度、湿度三<sup>割</sup>および温度九〇度、湿度二<sup>割</sup>の二通りとしまし

区分	採取場所	採取時期	伐採時空間線量	採取本数
65℃乾燥処理用丸太	計画的避難区域	H23. 11	4〜6 μSV/h	3本
90℃乾燥処理用丸太	計画的避難区域	H24. 12	4 μSV/h	3本

表-1 試料調整用丸太の採取地

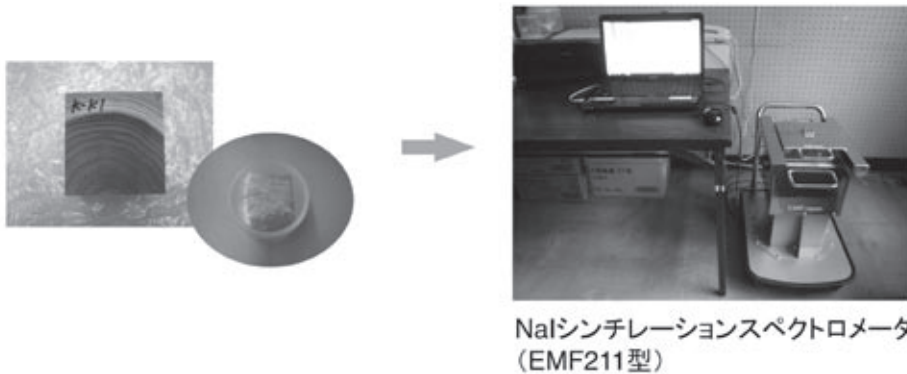


図-2 処理前放射性セシウム濃度測定

た。事前に対照区・乾燥区ともにNaIシンチレーションスペクトロメータによる放射性セシウム濃度を測定し（図-2）、乾燥区は乾燥処理を行いました。その後、対照区・乾燥区ともに表面を約五<sup>ミ</sup>切削、材内部と表面切削部に分け、材内部は再びNaIシンチレーションスペクトロメータによる濃度測定を行

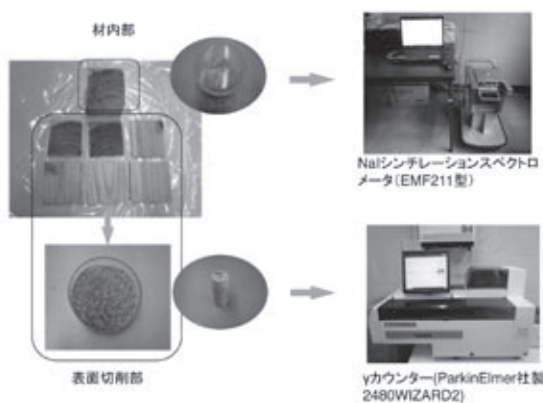


図-3 表面切削と放射性セシウム濃度測定

い、表面切削部は更に粉碎し、γカウンタによる濃度測定を行いました(図-3)。

### 3 試験結果

対照区の表面切削前と処理後の一試験体あたりのセシウム一三七量の減少率と、乾燥区の乾燥・表面切削前と処理後の減少率を比較すると、乾燥温度六五度では対照区二七割、乾燥区二三割であり、乾燥処理による差はほとんど見られませんでしたが、九〇度では対照区二九割、乾燥区四〇割と乾燥処理による差が認められました。(表-2、3)

表面切削部における対照区と乾燥区のセシウム一三七濃度を比較する

No.	対照区			乾燥区		
	処理前 (Bq)	処理後 (Bq)	減少率 (%)	処理前 (Bq)	処理後 (Bq)	減少率 (%)
1	795	542	31.8	751	595	20.8
2	782	608	22.3	718	567	20.9
3	136	98	27.9	112	82	27.1
平均	571	416	27.3	527	415	23.0
標準偏差	377	277	4.8	360	289	3.6

注) 減少率 = (処理後 - 処理前) ÷ 処理前 × 100

表-2 乾燥温度65°Cにおける処理前後の1試験体当たり Cs137量とその減少率

と、何れの乾燥温度とも乾燥区が大きく、その比率は六五度が二九割、九〇度が三〇割でした。

表面切削した残りの供試材と、表面切削部のこの結果は、田中らの安定セシウムと同様に、放射性セシウムにおいても乾燥処理により材内部

No.	対照区			乾燥区		
	処理前 (Bq)	処理後 (Bq)	減少率 (%)	処理前 (Bq)	処理後 (Bq)	減少率 (%)
1	273	197	27.9	278	167	40.0
2	360	257	28.6	297	183	38.3
3	393	276	29.8	409	242	40.7
平均	342	243	28.8	328	197	39.7
標準偏差	62	41	0.9	71	40	1.2

注) 減少率 = (処理後 - 処理前) ÷ 処理前 × 100

表-3 乾燥温度90°Cにおける処理前後の1試験体当たり Cs137量とその減少率

から表面に移動したことを示します。この低減効果を数量的に評価すると、九〇度の乾燥温度で対照区と処理区の減少率の差である約一〇割と算出されます。

一方、乾燥前後の同一木片のセシウム一三七の濃度差が一〇割であつ

### V おわりに

本試験により、放射性セシウムにおいても安定セシウムの報告と同様に乾燥処理により材内部から表面に移動することが確認され、乾燥後の表面五割切削後の低減効果は約二〇割と推定されました。この結果から、乾燥方法および乾燥条件を工夫することにより減少率を増加することが期待されたため、今後も実用化につながる取り組みを継続することとしています。

1) Takashi Tanaka, Yasuo Kawai: Migration of cesium chloride dissolved in the liquid water of sugi (Cryptomeria japonica D. Don) during drying at 65°C. Holzforschung, DOI: 10.1515/hf-2013-0188.

2) 田中ら(二〇一三) 第六三回日本木材学会大会研究発表要旨集: E27-05-1400

# 「森で育む未来への絆」第11回うつくしま育樹祭開催 ～鳥取県知事、美鳥（みどり）の大使との交流～



- 日時：平成25年11月9日（土）
- 場所：須賀川市うつくしま未来博記念の森  
うつくしま育樹祭実行委員会



参加者全員で記念撮影

うつくしま育樹祭は、県民一人ひとりが緑の大切さを再認識し、森林（もり）に親しむことで「心にやすらぎ」や「心の拠り所」として緑を感じることができるよう平成12年に開催した「第24回全国育樹祭」を契機として、平成15年から開催しており、今年で11回目の開催となりました。

しかし、東日本大震災、原発事故が起きた平成23年からは、ふくしまの復旧・復興の思いを込めたテーマを掲げ、今回は「森で育む未来への絆」と題し、うつくしい故郷ふくしまを一日も早く取り戻し、未来へ引き継いでいけるようにとの思いで開催いたしました。

開会式は、齋藤卓夫実行委員長の開会のことは、大会会長を務める佐藤雄平福島県知事のあいさつ、平井伸治鳥取県知事のあいさつ、苗木の寄贈セレモニー、ドングリのリレーセレモニー、遠藤芳子氏の「森の名手・名人」の認定証交付式（写真1）、福島県議会議長の来賓祝辞（代読：西山尚利農林水産委員長）、橋本克也須賀川市長の来賓祝辞、記念植樹（写真2）、記念撮影（上部写真）の順にとり行いました。



（写真1）「森の名手・名人」認定証交付式

当日は、約320人の参加者が集まり、育樹活動（写真3）や植樹活動（写真4）に汗を流しました。その他にも交流イベント（写真5）として、①竹の小物作り、②丸太切り大会、③森のネイチャーツアー復刻版（自然散策）を実施し、秋の自然を満喫しながら参加者の交流を深めました。会場には、豚汁テント、地元産品販売テント、パネル展示テントを設け、お昼休みに参加者全員に豚汁を振る舞い、須賀川市の地元特産品の販売や、企業の森林づくり、海岸防災林の被害・復旧状況等についてのパネル展示も行いました。



（写真2）記念植樹

特に今年は鳥取県から平井知事と美鳥（みどり）の大使（八頭町立丹比小学校と琴浦町立八橋小学校の緑の少年団の皆さん）をお迎えし、「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」を通じて、鳥取



県との交流もありました。

「とうほくとっとり・森の里親プロジェクト」とは、今年5月に鳥取県で行われた全国植樹祭の併催事業で、震災で被災した東北三県を対象に、鳥取県が実施しているもので、福島県では県内で採取したコナラやケヤキの種子を鳥取県にお渡しし、鳥取県の小学生や苗木生産者の皆さんが育て、その育てた苗木を里帰りさせるという、震災からの復旧・復興を支援するプロジェクトです。

開会式の苗木の寄贈セレモニーの中で、美鳥の大使の皆さんから、会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団と南会津町立田島保育園の皆さんへ苗木（コナラ、ケヤキ：各100本）が手渡されました。更に、これからもプロジェクトを継続していくために、ドングリのリレーセレモニーということで、福島県内で採取したドングリを須賀川市立大森小学校緑の少年団の皆さんから、再び美鳥の大使の皆さんにお預けしまし

た。今回の育樹祭の記念植樹や植樹活動では、すべて寄贈された苗木を利用しました。

閉会式は、うつくしま育樹祭実行委員の福島県森林保全課加藤政樹課長があいさつし、閉幕しました。

第11回うつくしま育樹祭は、平成30年に本県への招致を目指している全国植樹祭の最初のプレイベントとして行われました。今後もこうした森林づくり活動を継続し、全国植樹祭に向けて気運を盛り上げていきたいと思ひます。



(写真3) 育樹活動



(写真4) 植樹活動



(写真5) 交流イベントの様子

## 第10回ふくしま森林・林業・写真コンクール入賞作品を展示しました

平成26年1月6日（月）から17日（金）までの2週間、福島県庁2階の連絡通路に、第10回ふくしま森林・林業写真コンクール入賞作品15点を展示し、沢山の方々にご覧頂きました。

また、1月20日（月）から3月末にかけて、林業会館の旧4号国道に面した展示スペースにて入賞作品を数点ずつ展示いたします。是非ご覧ください。

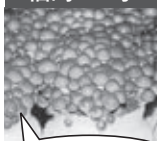


展示の様子（県庁2階）

## きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

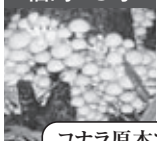
福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

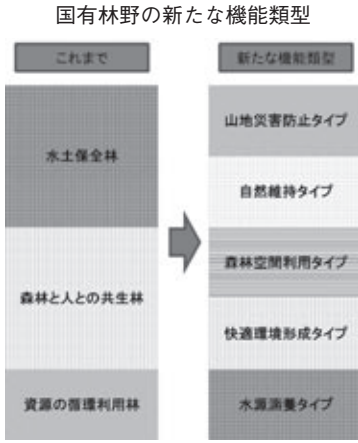
〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

森林管理署メロ

# 森林林業再生に向けた 国有林野事業の 展開

国有林野は、奥地脊梁山地や水源地域に広く分布し、国民生活の安全・安心に重要な役割を果たしており、林野庁が国有林野事業として、公益的機能の維持増進を基本としてつ、特別会計として企業的に運営してきました。

こうした中で、国有林野事業は、平成二五年四月の年度スタートと同時に歴史的大転換を果たしました。組織と事業の全てを一般会計化したのです。



水源涵養タイプ（久慈川上流）

一般会計化後の国有林は、「国民の森林」として引き続き一体的に管理経営し、民有林施策との一体的な推進を図りつつ、様々な取組を実施することとされています。

今回は、その具体的な取り組みの一例を紹介します。

国有林野事業では、これまで、公益的機能の維持増進を図るため、個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって区分した上で、間伐などの必要な施策を行うとともに、治山事業や路網整備等にも取り組んできました。

これまでの区分は、国民の多様な要請に対応するため、「森林林業基本計画」と「全国森林計画」の考え方に即して、個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって、「水土保持林」、「森林と人との共生林」及び「資源の循環利用林」の三

つの機能類型に区分してきました。

今回、公益重視の管理経営の一層の推進の観点から、これらの三機能類型を、災害に強い国土基盤を形成する観点から「山地災害防止タイプ」、生態系としての森林の重要性を踏まえた生物多様性の保全を図る観点から「自然維持タイプ」、国民の憩いと学びの場を提供し、又は豊かな自然景観や歴史的風致を構成する観点から「森林空間利用タイプ」、騒音、粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から「快適環境形成タイプ」及び良質な水の安定供給を確保する観点から「水源涵養タイプ」の五タイプに見直しました。

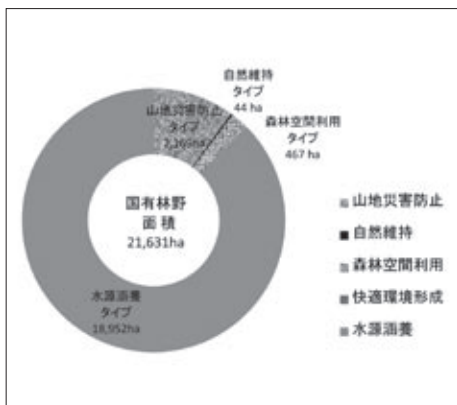
この見直しに当たっては、水源涵養機能は、全ての国有林野で発揮を期待する基礎的な機能と位置づけた上で、生物多様性保全、保健レクリエーション文化、山地災害防止、快

適環境形成の各機能については、他の機能に配慮しつつ、専ら特定の機能の高度発揮を優先させるべき区域を区分することとしました。木材生産機能については、区分に応じた適切な施策の結果得られる木材を計画的に供給することで発揮するものとなりました。

今後、国有林野事業では、それぞれの流域の自然的特性等を勘案しつつ、新たな区分に応じて施策を推進することとしています。

なお、棚倉森林管理管内の機能類型別面積は、水源涵養タイプ一八、九五二ha、山地災害防止タイプ二、一六九ha、森林空間利用タイプ四六七ha、自然維持タイプ四四八ha、快適環境形成タイプ〇haとなっており、区分に応じた適切な管理を心がけています。

機能類型別面積（棚倉森林管理署）



団体のページ

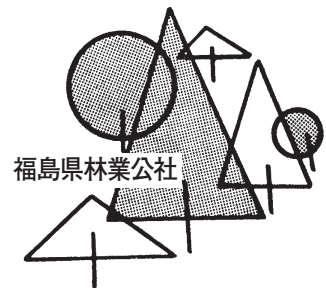
公社だより

公益社団法人に  
移行します

当公社は、造林を推進する県の補完機関として昭和四二年四月一日設立され、これまで四六年間に約一五、〇〇〇畝の森林資源を造成し、適正に管理してまいりました。これらの事業により、森林の持つ公益的機能を維持・増進させるとともに、山村地域の雇用を創出し地域振興に大きく貢献してまいりました。

この間、木材価格の下落などにより、公社にとって厳しい経営環境となっており、[改訂]第二次改善計画及び同後期分期計画に基づき経費削減や事業の効率化に努めながら、経営改善に取り組んでいくところでもあります。

このような中、平成二〇年十二月一日に公益法人制度改革三法が施行され、当公社としては、平成二五年度第四六回通常総会において「公益社団法人への移行」が承認され、



現在、関係機関との調整を重ねながら、平成二六年四月一日付けでの移行登記に向け、その手続きを進めているところです。

また、移行後の名称を「公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社」に変更する予定であります。

- この名称には、
  - ・「ふくしま」…親しみやすく、県民にとって身近な存在であり、公社が新しく生まれ変わる。
  - ・「緑」…自然環境をイメージできる。
  - ・「森づくり」…森を管理するだけではなく、将来に向かって県民と一緒に積極的に森づくりを進める。

という意味が込められています。

移行後は、県民共有の財産である森林を健全な姿で次世代に引き継いでいけるようこれまで以上に森林の適正管理等に努め、また、「公益法人」としての役割を果せるよう一層努力してまいりますので、引き続き御支援・御協力をお願いいたします。

間伐材の利用推進に関する  
展示について

福島県林業公社では、平成二五年十一月一日～十一月十一日に間伐で発生する木材の有効利用を推進するため、スギ間伐材のツリー展示及び林業公社の活動内容等を紹介するパネルを福島県自治会館に展示し林業公社のPRに努めました。



スギ間伐材のツリー



展示の様子

## 県南地方における安全・安心な 特用林産物の生産・流通に向けて

■県南農林事務所  
林業普及指導員 富 樫 誠

原発事故により、県内の山菜類や野生きのこは、出荷が大幅に制限されており、栽培きのこについても生産と出荷が制限されている地域があります。さらに、阿武隈高地を中心に全国に販売されてきたきのこ原木の多くが使用困難となっています。県南地方においても、山菜類の4品目が出荷制限、野生きのこは全市町村が出荷（一部採取）制限となっています。

こうした特用林産物の出荷制限品目については、市町村によって異なっており、市場や農産物直売所（以下直売所。）等での混乱が懸念されることから、当事務所では管内36カ所ある直売所等を定期的に訪問し、管内あるいは管外の出荷が規制されている地域からの特用林産物の流通を防ぐことや産地表示の徹底を図るなど出荷の適正化に取り組んでいます。特に管内には、地元に着した小さい直売所の数が多いことから、所内の企画部、農業振興普及部及び森林林業部で連携を図りながら、方部別に分担し出荷管理状況の調査指導を行うほか、各種情報提供を行っています。定期的に直売所等を訪問することにより担当者の方とも連携が深まり、生産者の情報を頂けるようになりました。その情報をもとに直接生産者に当たりモニタリング検査の徹底を図るよう指導を行っています。

また、出荷制限となっている山菜類や野生きのこについても、将来の出荷解除に向けた放射線量のデータを記録しておくため、直売所を通して採取者に協力を求め調査検体の提供をお願いしています。

こうした取組みにより調査検体数は、平成25年度は山菜類が190検体、野生きのこについては、全般に不作の年にもかかわらず23検体の検査を実施したところであり、引き続き所内各部と直売所等との連携を密にしながら、適正な出荷・流通に取り組んでいくこととしています。

安全・安心な栽培きのこの生産については、平成25年3月に「福島県安心きのこ栽培マニュアル」を改訂し、国でも10月に「放射性物質低減のための原木きのこ栽培管理に関するガイドライン」が策定されました。

本当に安全・安心なきのこを栽培し、消費者に自信を持ってお届けするためには、これらのマニュアル等を活用し、生産者個々に合った栽培管理工程の確立とモニタリング検査の徹底や直売所等との連携が益々重要となっており、これらの取組みが我々普及指導員の役割と考えています。



農産物直売所「みりよく満点物語」



出荷管理状況調査



素材の価格〈工場着価格〉(10月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~9)	1	(0~0)	0	8 (6~9)	1	8 (6~9)	0
		10~13		並	スギ	11 (10~11)	1	9 (9~9)	0	9 (7~11)	0	10 (7~11)	1
	中	14~18	3.00	並	スギ	13 (12~15)	2	11 (11~11)	0	11 (9~13)	1	12 (9~15)	1
				並	ヒノキ	16 (13~20)	2	(0~0)	0	15 (12~17)	0	16 (12~20)	2
		6.00	並	スギ	17 (15~19)	1	14 (8~20)	0	15 (14~16)	0	16 (8~20)	1	
			並	ヒノキ	27 (26~29)	1	(0~0)	0	21 (16~26)	0	24 (16~29)	1	
	20~28	3.65	並	スギ	13 (13~14)	0	11 (10~13)	0	11 (9~13)	1	12 (9~14)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (8~13)	1	(0~0)	0	11 (9~12)	4	11 (8~13)	2	
		1.80	並		7 (5~8)	0	(0~0)	0	7 (7~8)	2	7 (5~8)	1	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26 (26~26)	0	(0~0)	0	27 (24~30)	1	27 (24~30)	1
並				米マツ	29 (28~30)	0	29 (29~29)	0	30 (28~32)	0	29 (28~32)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (25~28)	0	27 (25~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~35)	0	32 (28~35)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	4 (4~4)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	0	4 (3~4)	0	
			並	広葉樹	4 (4~4)	0	(0~0)	0	6 (6~6)	0	5 (4~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

九月の原木市場への入荷状況は、前月比三三割増(前年比一三割増)の二二、九一〇立方メートルとなっている。  
 販売量については、前月比三〇割増(前年比一四割増)の二二、三七六立方メートルとなっている。  
 一〇月の取扱量は、入荷量、販売量ともに前年比五割増となっている。  
 十月の価格については、じり高の傾向が見られる。

また、飯豊山の清冽な伏流水を仕込み水として使用して造られた日本酒も有名で、今年の全国新酒鑑評会において、最も金賞受賞数の多かったのが福島県で二六点が金賞を受賞し、そのうち喜多方市の酒造店四社



喜多方へよつてがつしえ

あけましておめでとうございま

す。新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今年一年が明るい話題にあふれた、良い年になりますようお願いいたします。

今シーズンの初雪は、全国的に例年より早い観測となりましたが、喜多方市も十一月十二日には初雪を観測し、温かい食べ物が一層おいしく感じる季節となりました。

ご存じのとおり、ここ喜多方市は、ラーメン店が一〇〇軒以上あり、「平打ち熟成多加水麺」と呼ばれる麺が平たく(幅約三ミリの程度)ちぢれているのが特徴で、スープは醤油を使ったものが基本ですが、近年は、同市の熱塩加納地区の山塩を贅沢に使った塩ラーメンなども評判のよう

です。

会津農林事務所 矢吹 秀明  
 が受賞しました。

次いで、二位兵庫県の十七点、三位の山形・新潟両県の十五点を大きく引き離しています。(余談ですが、某局のサンデーモーニングのスポーツコーナーを担当している「唐橋ユミ」さんも、ここ喜多方市の酒造店の出身です。)

これからのシーズンに最適なおもてなしとして、家族や両親、さらには友人等をお誘いの上、喜多方市へ足を運んでいただき、熱めの温泉に入り、おいしい酒を飲み、締めにはラーメンを食して、一年の疲れを癒しては如何でしょうか。是非、喜多方へよつてがつしえ。



## 表紙の写真



「材木運び」

第10回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した坂野井浩さん（福島市）の作品。

## はなしのひろば

### ふうちゃんの詩

年が改まると私は、必ずこの詩を読む。  
昭和二十七年当時小学二年生だった野上房雄君が書いた詩だ。

お正月には／むこうのおみせのまえへ／  
キャラメルの中から／ひろいに行く／  
香里の町へ／えいがのかんばん見に行く／  
うらの山へうさぎの／わなかけに行く／  
たこもないけどたこはいらん／こまもないけどこまもいらん／ようかんもないけどようかんもいらん／大きなうさぎがかかるし  
キャラメルのかじびきがあたるし／くらまてんぐの絵がかけるようになるし／てらんかいに／とうとれるし／ぼく／うれしいことばかりや／ほんまに／よい正月がきよる／ぼくはらいねんがすきや／

ふうちゃんの心と体が、わくわくしながら、一目散に町に山に駆けていく様子が目に浮かぶ。お正月には、もうらいねんがくるのを待ち望んでいる。年の始めに読むと、何か忘れていたものを呼び起こされるようで、何年経っても私の内では新しい詩だ。

しかし、この詩を書いたふうちゃんは、その「らいねん」の春に病死したという。  
私達の国にこんな時代があったことを、こんな少年がいたことを、もしかしたら今でもいるかもしれないことを心に刻んでおきたいといつも年の始めに思うのである。

（都）

#### 編集

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合  
福島県農林種苗業同組合

福島県森林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会  
福島市中町五番一八号県林業会館内

相馬 雅俊

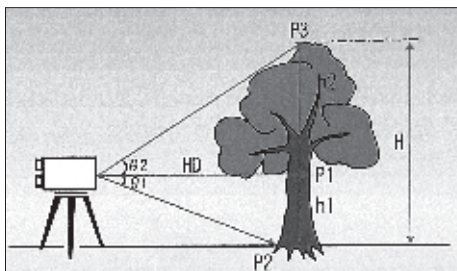
陽光社印刷株式会社

#### 発行人

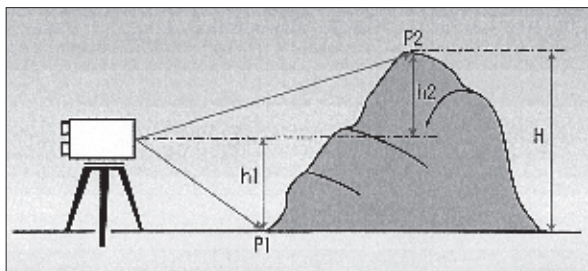
（定価 一〇五円）

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

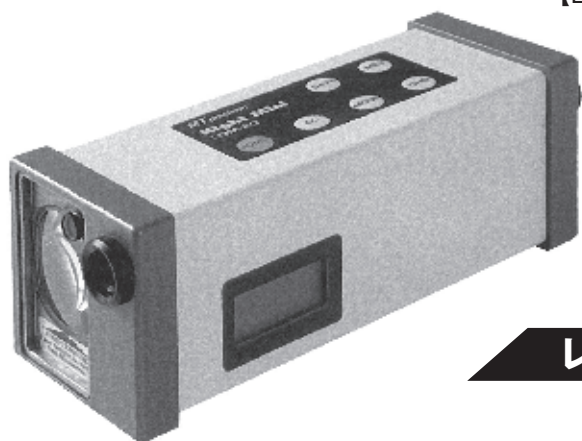


2. 堆積物等の山なり形状の場合



#### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



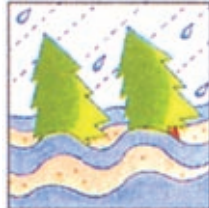
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



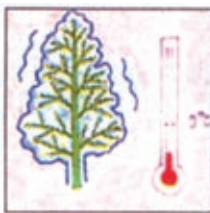
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトング
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトングによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トング
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL (楽退治)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

チッパーシュレッダ



**竹もOK!**  
**SR3000-2**  
出力 22.3kW (質量1,330kg)  
水冷ディーゼル  
X379301020  
¥3,543,750(税込)

プロソー



**GZ3900EZ**  
排気量 39.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**  
排気量 43.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
45cm(18")  
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

## ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

# (有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1